

ああ上野駅

作詩 関口義明

作曲 荒井英一

どこかに故郷の香りをのせて
入る列車のなつかしさ

上野は俺らの心の駅だ

くじけちゃならない人生が

あの日ここから始まった

就職列車にゆられて着いた

遠いあの夜を思い出す

上野は俺らの心の駅だ

配達帰りの自転車を

とめて聞いている国なまり

ホームの時計を見つめていたら

母の笑顔になってきた

上野は俺らの心の駅だ

お店の仕事は辛いけど

胸にやでつかい夢がある